

アンリツ株式会社

データセンターの高速化を支えるテストソリューション

2024年10月

島 岳史

取締役 常務執行役員 通信計測カンパニープレジデント



東証 プライム
証券コード：6754
<https://www.anritsu.com>

目 次

1. 会社概要
2. 事業概要
3. データセンターの高速化を支えるテストソリューション
4. その他のデータセンター関連測定ソリューション



アンリツ株式会社

〒243-8555

神奈川県厚木市恩名5-1-1

Tel : 046 -223 -1111 (代表番号)

<https://www.anritsu.com>

- 創業（石杉社）^{せきさんしゃ} : 1895年（明治28年）
- 資本金 : 192億19百万円（2024年3月31日現在）
- 売上高 : 1,099億52百万円（2024年3月期 連結）
- 従業員数 : 4,083名（連結）（2024年3月31日現在）
1,732名（単独）（2024年3月31日現在）

2. 事業概要

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ◆ モバイル市場 : 5G、5G利活用
- ◆ ネットワーク・インフラ市場 : データセンター、光NW、無線NW
- ◆ エレクトロニクス市場 : 基地局建設保守、電子部品、無線設備



PQA事業

食と医薬品の安全・安心

- ◆ 食品検査市場
- ◆ 医薬品検査市場



環境計測事業

脱炭素社会を目指して

- ◆ EV/電池試験市場
- ◆ ローカル5G導入支援



その他

- ◆ センシング & デバイス
- ◆ その他



(セグメント別売上比率)

2024年3月期 実績 (連結) : 1,100億円

通信計測 64%			PQA 23%	環境計測 7%	その他 6%
モバイル 42%	ネットワーク・インフラ 36%	エレクトロニクス 22%			

2025年3月期 1Q実績 (連結) : 252億円

通信計測 67%			PQA 22%	環境計測 6%	その他 5%
モバイル 41%	ネットワーク・インフラ 37%	エレクトロニクス 22%			

(通信計測事業 地域別売上比率)

2024年3月期 実績

日本 16%	アジア他 38%	米州 26%	EMEA 20%
--------	----------	--------	----------

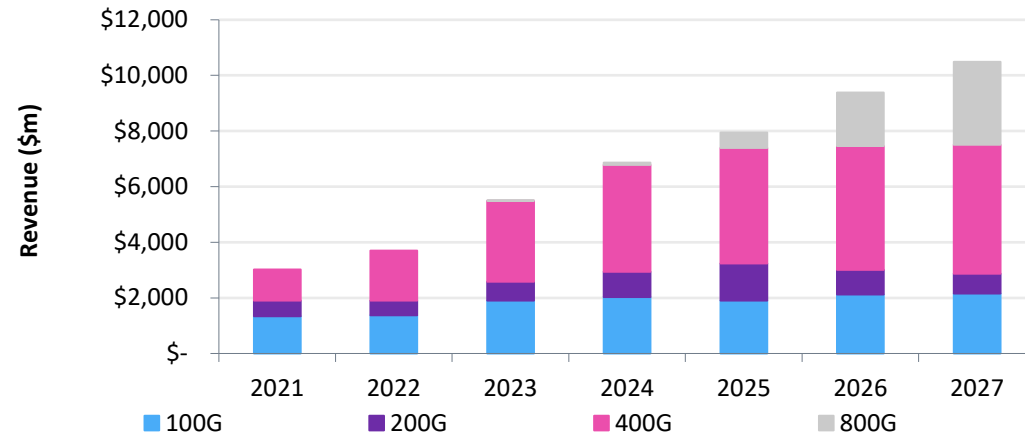
2025年3月期 1Q実績

日本 15%	アジア他 41%	米州 28%	EMEA 16%
--------	----------	--------	----------

3. データセンターの高速化を支えるテストソリューション

3-1. データセンターの高速化を支えるテストソリューション

High-speed (from 100G to 800G) optical modules by data rate



Source: Omdia

© 2022 Omdia

Source : Omdia; Datacom Transceiver and AOC Forecast: 2022-27 19 SEP 2022

急速に伸びるデータトラフィック

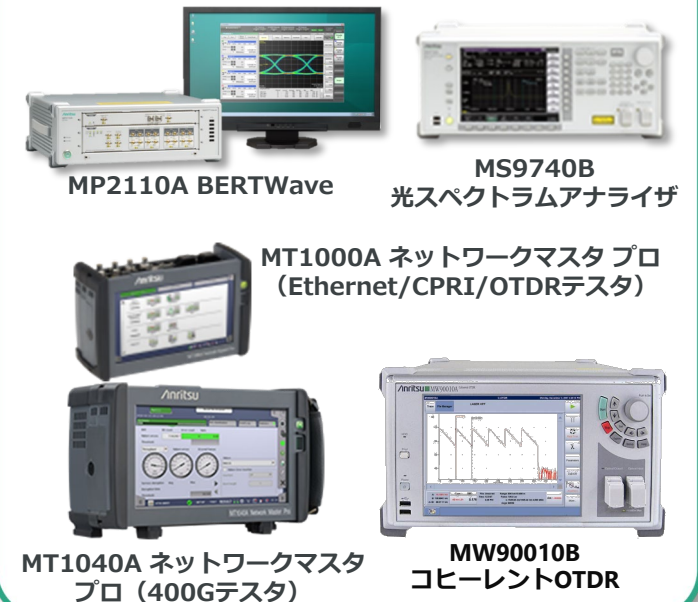


主な競合

キーサイト
Viavi (旧JDSU)
Yokogawa

データセンター

製造、設置、保守 ソリューション



主な競合

キーサイト

研究開発 ソリューション



データセンター装置
(ルーター、スイッチ等)

光モジュール

光デバイス

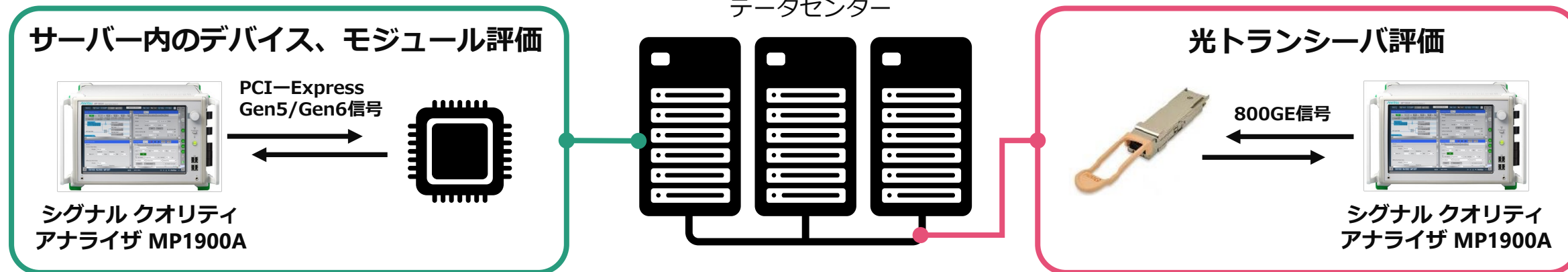
測定対象：超高速光デバイス・モジュールなど

3-2. データセンターの高速化に向けた開発用測定ソリューション

生成AIの普及によるデータセンターの大容量化に伴うデバイス/モジュール評価に対応

PCI-Express Gen5→Gen6
伝送容量が2倍

・ 100GE→400GE→800GE
サーバー間の光インターフェース高速化



■ 特徴

100GE/400GE/800GE対応、PCI-Express Gen5/6対応

■ 対象市場

GPU/CPU、高速光通信デバイス/モジュールの開発市場

■ 対象顧客

チップベンダ、光トランシーバベンダ、ネットワーク機器ベンダ、ハイパースケーラー

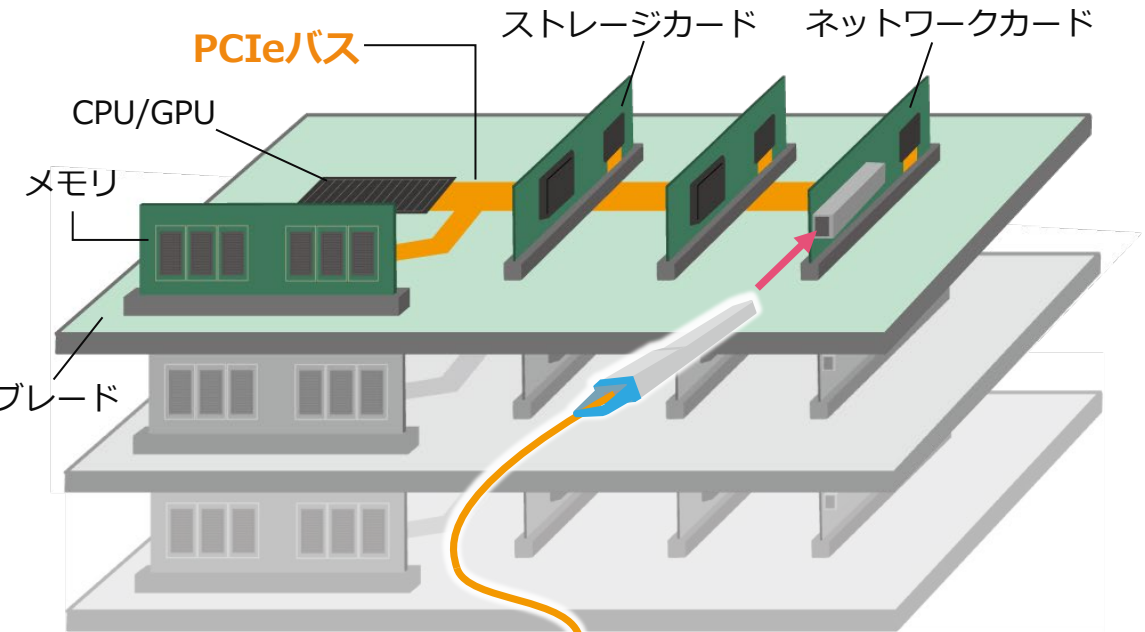
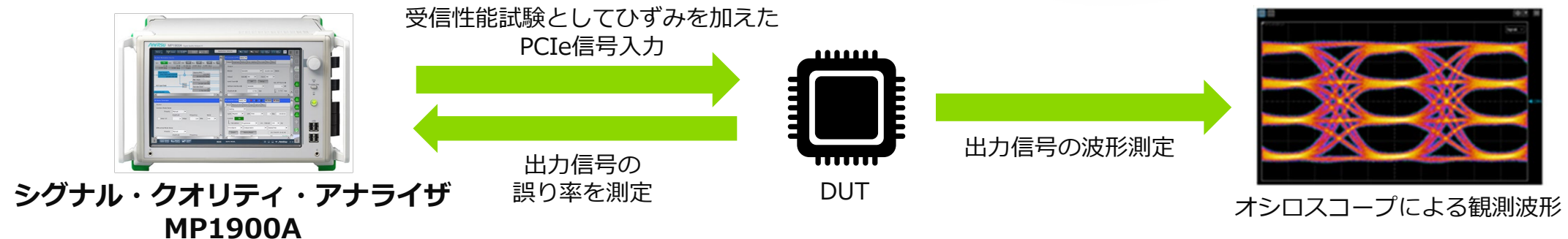
サーバー内通信の高速化に向けて、PCIe Gen6に対応

サーバー間の光ネットワークとして、800GE化が進展している。これに伴い、サーバーブレード上のCPU/GPU、メモリ、各種モジュール間の高速通信にPCIe Gen6対応が進められている

MP1900Aの強み：

- 自社内製デバイスを使用することで高い波形品質の出力信号を実現
- Gen6が要求するLink Training（ループバック試験）プロトコルに対応（業界初*）
*:アンリツ調査による

データ誤り率と波形品質の評価に使用



3-4. データセンター用 光トランシーバーの製造用ソリューション

生成AIの普及によるデータセンターの大容量化に伴うデバイス/モジュール評価に対応

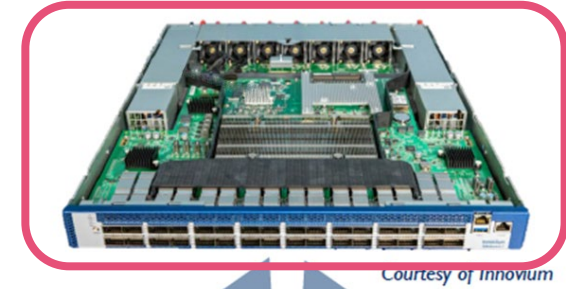


BERTWave MP2110A

800GE信号



サーバーユニット



Courtesy of Innovium



光トランシーバー



サーバーラックの裏側

大量の光トランシーバーと光ファイバ

出典：Explore our photo gallery - Google Data Centersより
<https://www.google.com/about/datacenters/gallery/>

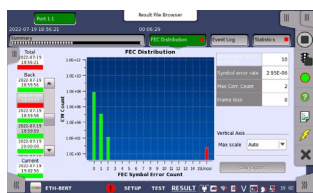
- 100GE/400GE/800GE向け光トランシーバーの性能評価環境を提供
- データセンターのサーバー間通信の高速化で需要拡大

100G/200G/400Gイーサネットのネットワーク品質評価に対応

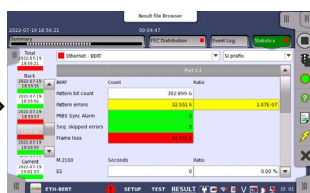
100G/200G/400Gイーサネット評価

- 現地での開通・保守に使用可能な小型で可搬可能なサイズ
- データセンターに用いられる各種イーサネット光モジュールに対応

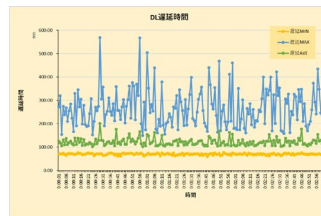
MT1040A
ネットワークマスタープロ



イーサネット信号品質の誤り訂正能力評価

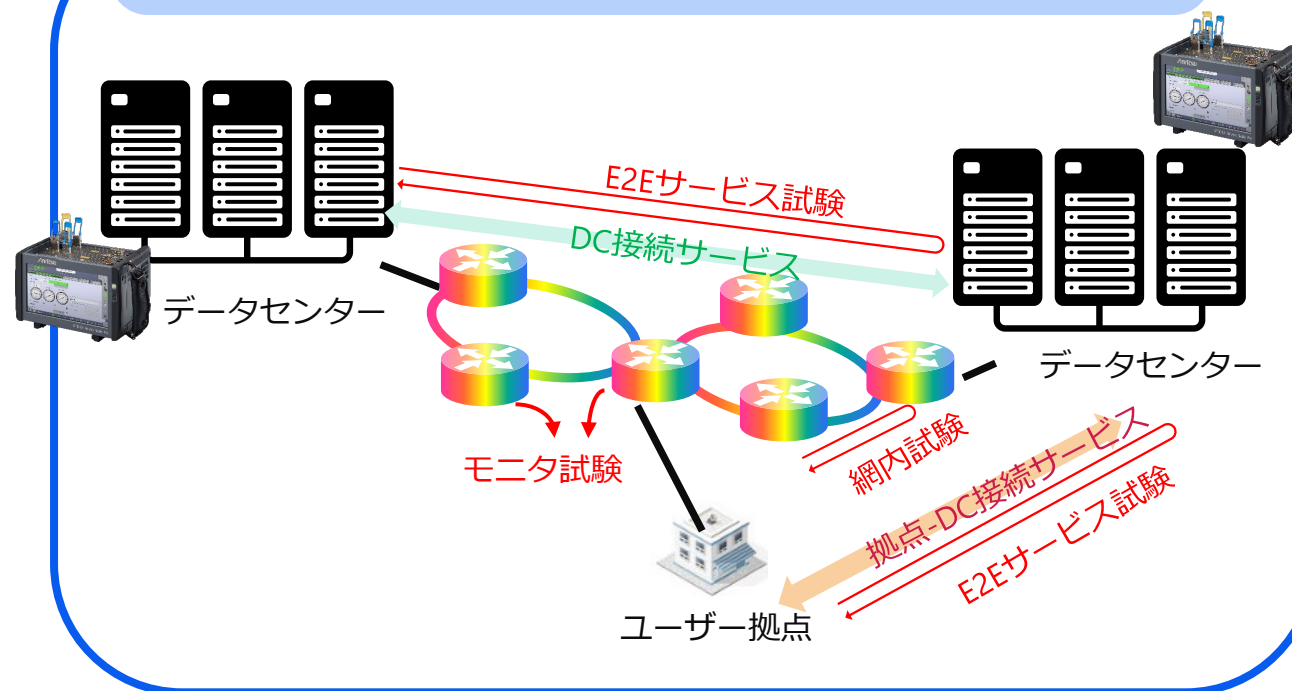


イーサネットのフレームエラー・PCS層アラーム評価



約3時間の各種測定結果のモニタ機能

- ①E2Eサービス試験：サービスイン時の通信品質測定
- ②網内試験：装置トラブル時の単体チェック、網内区間毎の切り分け
- ③モニタ試験：発生頻度が低いケースで長時間モニタ

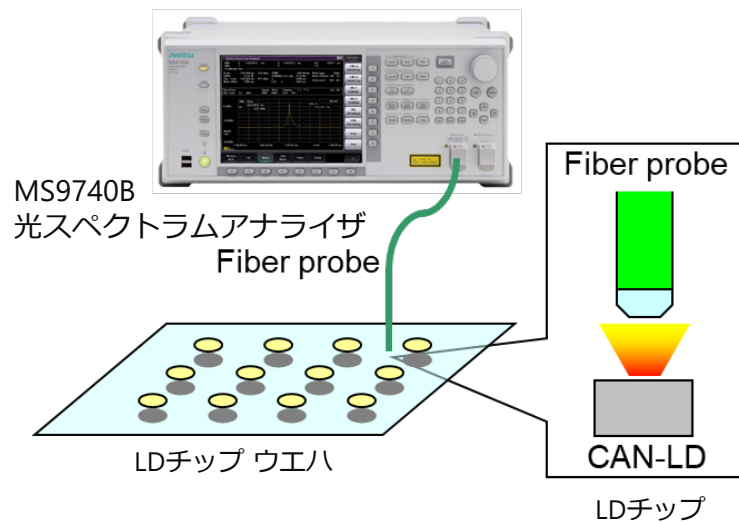


4. その他のデータセンター関連測定ソリューション

4-1. 通信・非通信向けレーザダイオード(LD) 製造用ソリューション

データセンター向けLDや、センシング需要の増加が見込まれる非通信向けLD評価に対応

LD Chip/CANの測定例



データセンター
への応用

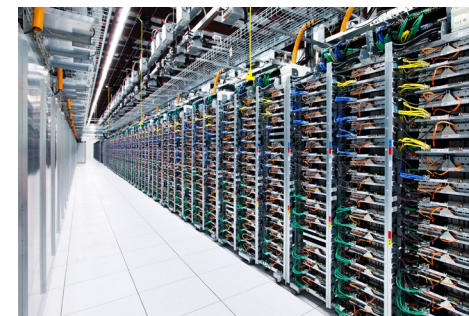


データセンター向けアプリケーション

様々な通信方式、距離に
対応したLDを搭載
光トランシーバー



データセンター向け機器

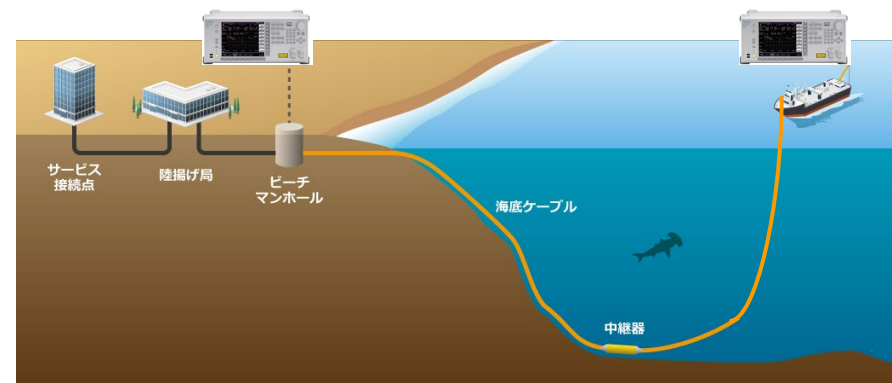


光海底通信への応用



光海底通信向けアプリケーション

敷設時に陸揚げ局と敷設船の双方から中継器の波長特性や品質評価
を行い海底ケーブルシステムの長期品質保証を実現



4-2. 光海底ケーブルの敷設・保守用ソリューション

光海底ケーブルの敷設、障害検知に対応

- 最大**20,000km**までの光ケーブルの障害を検知
(日米間の太平洋海底ケーブルは10,000~12,000km)
- 可搬性を重視し重量10 kg以下

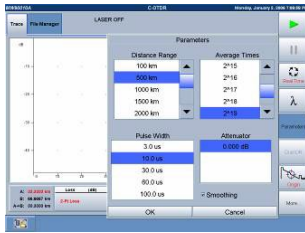
MW90010B
コヒーレントOTDR



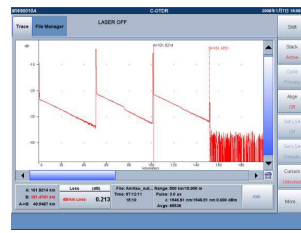
3ステップの簡単操作



1) 波長設定



2) 測定条件設定



3) 測定開始

ケーブルの敷設時は、陸揚げ局と敷設船の双方からケーブルの伝送損失や中継器の動作をモニタ、保守時は陸揚げ局側から障害箇所を特定

